

小 松 市 教 育 委 員 会 会 議 録

小松市教育委員会会議録							
会 議 名		平成29年 第8回小松市教育委員会定例会					
開 会 月 日		平成29年7月20日(木)		場 所		教育長室	
会 議 時 間		(開会)午後 1時 30分 ～ (閉会)午後 2時 50分					
休 憩 時 間		①(休 憩)午前・午後 時 分 ～ (再会)午前・午後 時 分 ②(休 憩)午前・午後 時 分 ～ (再会)午前・午後 時 分					
委 員 の 出 席		教育長	石黒 和彦	出席	委員	北村 嘉章	出席
		委員	野田 美和子	出席	委員	蘆邊 千鶴子	出席
		委員	吉原 慎吾	出席	出席委員4名、欠席委員0名		
出 席 説 明 員	教育次長兼教育庶務課長 山本 裕		出席	教育次長 道端 祐一郎		出席	
	未来の教育課長兼教育研究センター 所長 廣田 恵子		出席	図書館長 山崎 みどり		出席	
	学校教育課長 吉田 明生		出席	市立高校事務長 山口 和博		出席	
	青少年育成課長 東谷 勝美		出席	ひととものづくり科学館 副館長 浅野 幸恵		出席	
	教育庶務課参事(総括) 米津 貴之		出席	教育庶務課参事 池田 美和子		出席	
			出席			出席	
書 記							
傍 聴 者		0 名					
会 議 に 付 し た 議 題	【議案】						
	議案第 10 号 教育委員会事務事業点検・評価(平成 28 年度事務事業)について(教育庶務課)						
	議案第 11 号 生徒の引率に係る自家用車等の使用に関する要綱の制定について (市立高校)						
	【報告事項】						
	・サイエンスワールド、子育て講座について(未来の教育課、教育研究センター)						
	・図書館行事等について(図書館)						
	・寄附受納について(図書館)						
	・平成 29 年度ウォームアップ週間取組計画について(学校教育課)						
	・こまつチャレンジスクールについて(学校教育課)						
	・寄附受納について(市立高校)						
	・平成 28 年度放課後児童クラブ自己評価の公表について(青少年育成課)						
	【協議事項】 (非公開)						
	・平成 29 年度教育功労賞被表彰者の推薦について(教育庶務課)						

教育委員会報告

平成29年7月20日

【議 案】	
議案第 10 号 教育委員会事務事業点検・評価報告書(平成 28 年度事業対象)について	
所管部課名	教育庶務課
内 容	今年度より、評価方法・様式を全面的に見直し、各事業を教育大綱の実施計画(アクションプラン)の施策ごとに区分し、達成度をA～Dの4段階で評価した。 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条第 2 項に基づき「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする」とあることから、金沢学院短期大学の諸岡康哉教授より報告書について意見をいただいた。 報告書の内容 1ページ目に諸岡教授からの意見 2・3ページに教育大綱及び実施計画 4ページに全事業の評価一覧表 5ページ以降に各事業の個別点検評価票 87ページから教育委員会の活動状況を記載
今後の方針	諸岡教授よりいただいた意見を参考に、更に改善を図りたい。
教育委員等の意見	【北村委員】 ①実施計画に基づき記載してあり見やすい。市民が見てもわかりやすい用語にして更なる発展を。 【蘆邊委員】 ②全体の取組がわかり、よくなった。
	議案第10号 承認
議案第 11 号 生徒の引率に係る自家用車等の使用に関する要綱の制定について	
所管部課名	市立高校
内 容	現在市立高校には、バスが 7 台ある。内規は定めてあるが、脆弱であったため、県教育委員会の要綱を参考に、運行基準、賠償保険、バスの活用等について要綱を制定するもの。
今後の方針	
教育委員等の意見	【北村委員】 ①条例にはしないのか。 ②賠償責任を市が負う。となっているが、そのような内容を教育委員会で決めていいのか。
回 答	① 条例にはなじまない内容。県に倣って委員会の要綱とした。 ②使用者責任もしくは国家賠償法で最終的に市が責を負うことは免れない。県教育委員会も同様の考え方で、責任を県が負う。という表現になっている

	議案第11号 承認
【報告事項】	
件 名	サイエンスワールド、子育て講座について
所管部課名	未来の教育課、教育研究センター
内 容	(資料あり) 1.サイエンスワールドについて 今年度第1回目のサイエンスワールド(子供向けの科学研究) 講師は市内小中学校教員(シャボン玉ワールド)、小松工業教員(葉脈のしおり、レジンの実験)、絵本館職員(科学絵本の読み聞かせ)、企業(ナリカ)職員(紙コップで作る楽器)等11のブースで405名の参加者が楽しんだ。 2. 第2回子育て講座 今回は4回シリーズの2回目 講師:多賀クリニック 多賀千之氏 演題: 「お母さんのためのお父さんづくり教室」 保護者よりの意見として、自分達がやっていたこと、本当にやらなければいけないこと、母親としての役割、父親としての役割を再認識できたという感想が多かった。
今後の方針	
教育委員等の意見	【教育長】①小中学校の教員が講師になるのは何か意味があるのか。 【北村委員】②子育て講座について市P連と母親委員会と共催しているが参加する人はどのような人か。実際に悩んでいる人に参加してもらうのが本来の主旨なのではないか。
回 答	①小中学校の先生が講師になることにより理科実験に興味を持ってもらい、実験の企画運営をめざしている。子ども達にいかに関心を持たせるか研修会の一環も兼ねている。 ②母親委員会の母親代表の方がほとんど参加している。チラシを小、中、幼、保に出しているので、幼・保の方の参加もある。教育研究センターへ教育相談に来ている保護者の方にも個別に案内をしている。また、学校へも困っている保護者の方への声かけもお願いしている。
件 名	図書館行事等について
所管部課名	図書館
内 容	(資料、チラシあり) ① こまつ市民読書の日関連行事 昨年も好評だった朗読講座を7月から毎月開催で始める、回数も4回から6回に増やし、最終回は発表会を絵本館ホールで開催することを目指す。

	講師は昨年と同様、大橋のり子元石川テレビアナウンサー。応募は満杯。キッズ講座を、今回は南部図書館で貝田明先生を講師に開催。科学によるマジックを披露する。この他夏休み企画としてこども映写会も上映する。図書館友の会との共催行事、恒例の図書館まつりは第1弾が子供達に人気ののまりんの紙芝居劇場。第2弾は本館でも科学あそびを実施し、貝田明先生による音と振動のしくみを実験する。 今年の館運営の目標である、他施設とのコラボとして、夏休みに定着してきたナイトミュージアム&ライブラリーを博物館、美術館、絵本館と共に夜にそれぞれ企画事業を開催。図書館ではこまつ町家文庫と連携し、世界文学ジャム全集と無添加ジャムの販売を行う。ヤングアダルト対象に映画「蜜のあわれ」も上映する。これは室生犀星晩年小説「蜜のあわれ」を映画化したもの。 高校の学校司書との連携事業、高校生によるビブリオバトル大会は今年で3回目となるが、学校間の温度差があることから一時は開催を危ぶまれていたが、夏休み中の開催に漕ぎ付け、ただ今7名のエントリーがある。 その他市民読書関連事業として、先々月から全3回シリーズで始まったやさしい古文書講座の2回目があり水郷に関する地元の文書を読み解く。 ② テーマ展示 サイエンスヒルズでの「わくわく恐竜ランド」に先立ち、16日に宮西達也氏の講演会があったが、これにコラボし、宮西氏の『おまえうまそうだな』を始め、作品集をズラリと並べた。現在10冊程しか残っていない。 7月といえば七夕。七夕から連想する、空、星、夏にまつわる本を集めた。星の王子さま、銀河鉄道の夜など 6月23日からの1週間は男女共同参画週間で、これにちなみ女性の活躍などの関連本を並べた。もう展示替えがなされ、夏休みの調べ学習の参考図書に替わっている。 ③ その他 図書館では夏休み期間中の開館時間が1時間早まる。平日でも午前9時から午後7時まで。土・日曜日は通常どおり9時から5時まで。 小松美術作家協会より、「こまつの美」の収益の一部の寄附があり、図書館では図書カードで10万円分を受け入れ、美術全集など図書充実に充てる。
今後の方針	
教育委員等の意見	特になし
件名	寄附受納について
所管部課名	図書館

内 容	(資料あり) ・小松美術作家協会より市立図書館美術図書の充実のため、図書カード100,000 円の寄附があったもの。美術関係の図書を購入予定。
教育委員等の意見	特になし
件 名	平成 29 年度ウォームアップ週間取組計画について
所管部課名	学校教育課
内 容	(資料あり) ・平成29年度 ウォームアップ週間 取組計画について ウォームアップ週間の期間：8月24日～8月30日 ・趣旨について報告 ・小中の実施予定報告 小学校 25校:3日間 中学校 5校:3日間、3校:4日間、2校:5日間 ・ウォームアップ以外の補充学習の取組予定報告 ・ウォームアップ週間の内容報告
今後の方針	・学校ごとに内容を吟味し、意味のある取り組みを工夫していく。計画の段階で、学校ごとのねらいを明確にしていく。
教育委員等の意見	・【北村委員】夏休みは大切なものである。一年を見通した計画の中で、内容の充実を図る必要がある。日数にはこだわらないが、学校独自の工夫された取り組みが求められる。このウォームアップ週間が形骸化しないように、内容を吟味して取組んでほしい。
件 名	こまつチャレンジスクーについて
所管部課名	学校教育課
内 容	(資料あり) ・こまつチャレンジスクールについて 小学校 目的, 対象, 内容, 実施日, 実施会場について報告 参加希望延べ人数 187 名 講師人数 7 名 中学校 目的, 対象, 内容, 実施日, 実施会場について報告 参加希望延べ人数 295 名

	講師人数 6名
今後の方針	
教育委員等の意見	【蘆邊委員】実施時間が各 1 時間となっているが、短くはないか。5 年生と 6 年生が同じ場で教えあうなど工夫ができないか。
回 答	・児童・生徒の集中力の持続時間を考えると1時間は適当な時間と思われる。内容について、今後はプリント学習だけでなく、学びのバリエーションを広げていく。
件 名	寄附受納について
所管部課名	市立高校
内 容	(資料あり) ・小松市美術作家協会より、市立高校芸術コース充実のため、現金10万円の寄付があった。 ・寄付の趣旨を尊重し、芸術コース生徒の絵画等を学校内に展示するための施設整備に活用したい。
今後の方針	
教育委員等の意見	特になし
件 名	平成 28 年度放課後児童クラブ自己評価の公表について
所管部課名	青少年育成課
内 容	(資料あり) 各放課後児童クラブが自己点検表により自己チェックを行い、現状の課題の把握、改善目標を設定。クラブと青少年育成課が課題の共通認識を持ち、協力しながら改善を図り、開かれた質の高いクラブを目指す
今後の方針	
教育委員等の意見	【北村委員】 特に回答を求めるものではないが、質の向上と担当課の負担軽減を図る上でも、評議委員会を立上げ、外部評価や外部監査を行なうことも考えてみてはどうか。 【野田委員】 前年度を分析した上で数値目標を掲げている点等について、評価する。今後も期待したい。
【協議事項】	
件 名	平成 29 年度教育功労賞被表彰者の推薦について
所管部課名	教育庶務課

内 容	非公開
教育委員等からの意見	承認
【その他】	
	次回教育委員会会議日程について 日時:8月16日(水)午前 9時 00分 場所:小松市役所 6階 教育長室
教育委員からの意見・提言	
北村委員	・アクションプランの目標達成の数値目標があったと思うが、平成28年度の目標達成はどこまでできたのかを報告してほしい。 ・国では、夏休みの分散化がいられている。夏休みを減らして、春休みにその分を増やすことで、新学期の準備に要する教員の負担が減るのではないかと思うので検討をしてみしてほしい。
野田委員	①夏休みを短くし、春休みを長くすることで、新学期の準備のための時間に余裕ができるのではないかな。 ②市立高校への通学時のバスが非常に混雑して、不便な思いをしている生徒がいて聞く。朝の時間帯だけでも路線バスの補てんとして、市立高校所有のバスを活用できないかな。
回 答	【山口事務長】 ②特に冬季の通学は苦慮しており、学校所有のバスも検討したようだが、結果として営業バスでしか運行できなかった。制度上、非常に高いハードルがある。
蘆邊委員	春休みや夏休み、祝祭日での放課後児童クラブの指導員の人数が足りないクラブもあるのではないかな。地域の退職教員にお願いをする等の支援を市からできないものかな。
吉原委員	特になし